

第1 犯罪の概況

1 刑法犯

(1) 発生(認知)状況

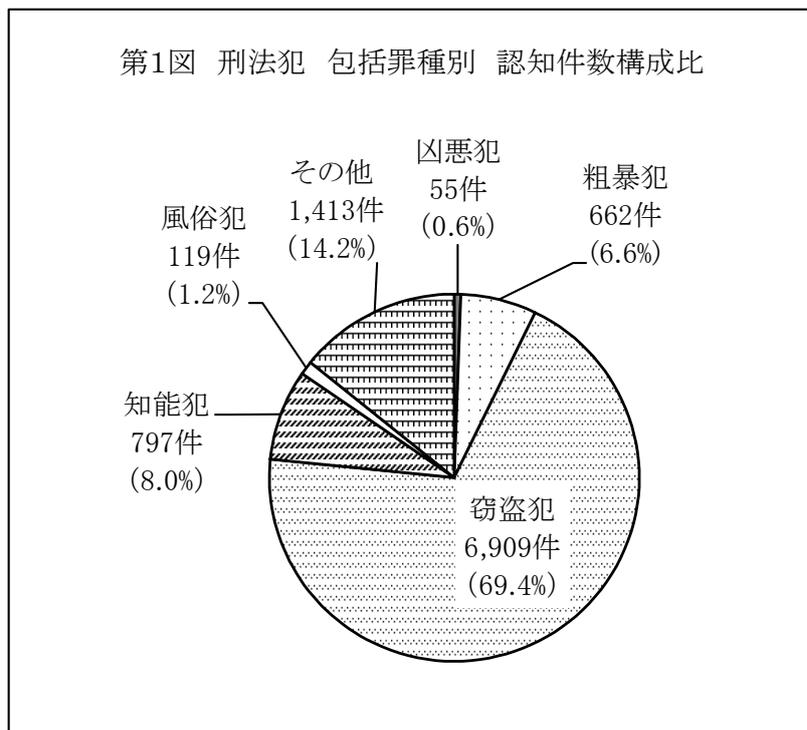
ア 概況

令和5年中の刑法犯認知件数は9,955件で、前年に比べ2,308件(30.2%)増加した。包括罪種別にみると第1表のとおり、すべての罪種が増加した。

第1表 刑法犯認知件数増減比較

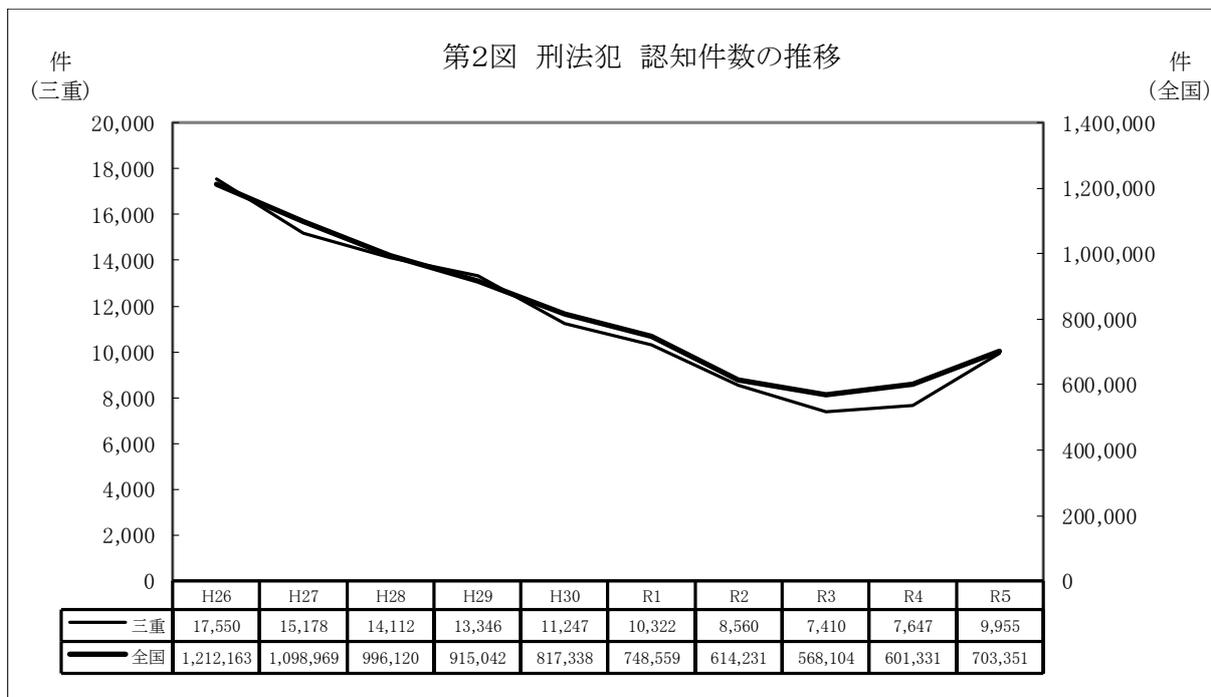
包括罪種	令和5年		令和4年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総数	9,955	100.0	7,647	100.0	2,308	30.2
凶悪犯	55	0.6	51	0.7	4	7.8
粗暴犯	662	6.6	453	5.9	209	46.1
窃盗犯	6,909	69.4	5,447	71.2	1,462	26.8
知能犯	797	8.0	464	6.1	333	71.8
風俗犯	119	1.2	54	0.7	65	120.4
その他	1,413	14.2	1,178	15.4	235	19.9

(ア) 刑法犯認知件数の包括罪種別構成比をみると、第1図のとおり、窃盗犯が約7割を占めている。



(イ) 令和5年中の三重県の刑法犯認知件数は9,955件で、全国の刑法犯認知件数は703,351件であった。

(ウ) 刑法犯認知件数の10年間の推移をみると、第2図のとおりで、平成26年以降、全国、三重ともに年々減少していたが、令和4年以降は増加している。



イ 罪種別にみた発生(認知)状況

(ア) 重要犯罪

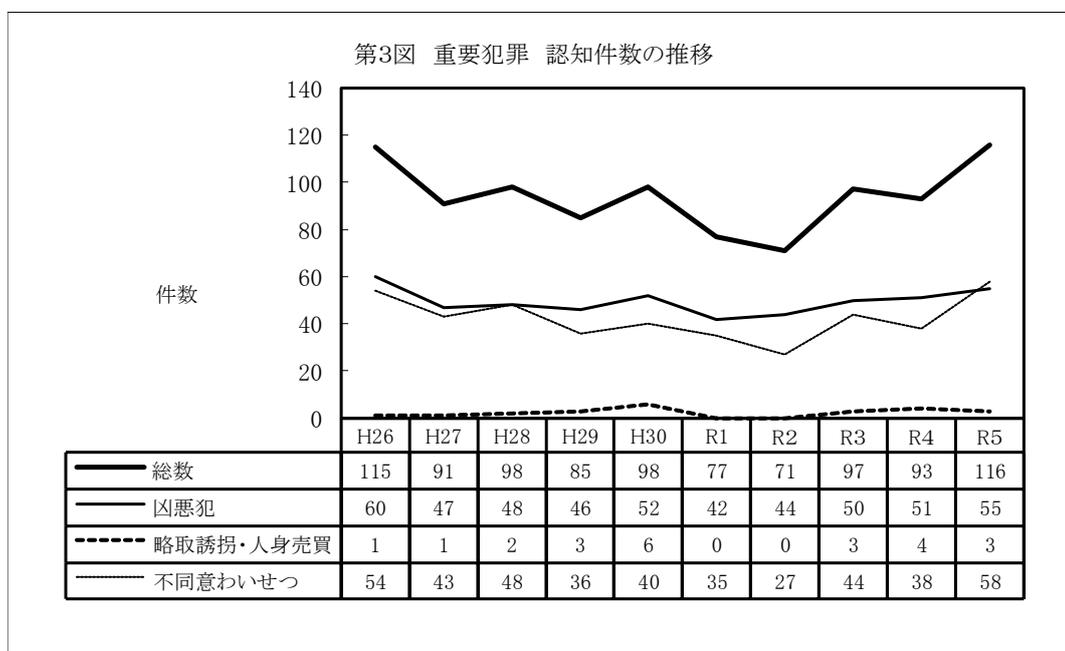
令和5年中の重要犯罪の認知件数は第2表のとおり116件で、前年に比べ、23件(24.7%)増加した。

罪種別にみると、強盗、放火、不同意性交等、不同意わいせつが増加したが、他の罪種は減少した。

第2表 重要犯罪認知件数増減比較

区 分	令和5年	令和4年	増 減	
			件 数	率
総 数	116	93	23	24.7
殺 人	5	12	-7	-58.3
強 盗	15	12	3	25.0
放 火	9	5	4	80.0
不同意性交等	26	22	4	18.2
略取誘拐・人身売買	3	4	-1	-25.0
不同意わいせつ	58	38	20	52.6

過去10年間の認知件数の推移をみると第3図のとおりで、平成26年以降増加と減少を繰り返している。



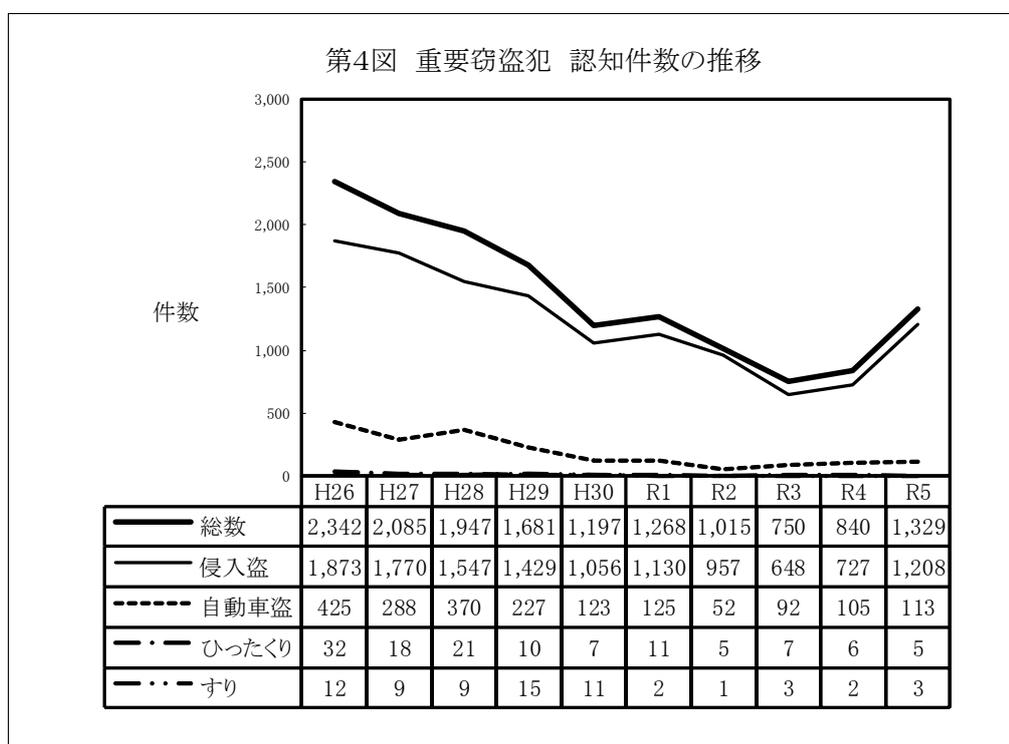
(イ) 重要窃盗犯

令和5年中の重要窃盗犯の認知件数は、第3表のとおり1,329件で、前年に比べ、489件(58.2%)増加した。

第3表 重要窃盗犯認知件数増減比較

区 分	令和5年	令和4年	増 減	
			件 数	率
総 数	1,329	840	489	58.2
侵 入 盗	1,208	727	481	66.2
住宅対象	311	269	42	15.6
その他	897	458	439	95.9
自 動 車 盗	113	105	8	7.6
ひ っ た く り	5	6	-1	-16.7
す り	3	2	1	50.0

過去10年間の認知件数の推移をみると第4図のとおりで、平成26年以降は減少傾向を示している。令和3年は過去10年で最少の件数となったが、令和4年以降は増加している。



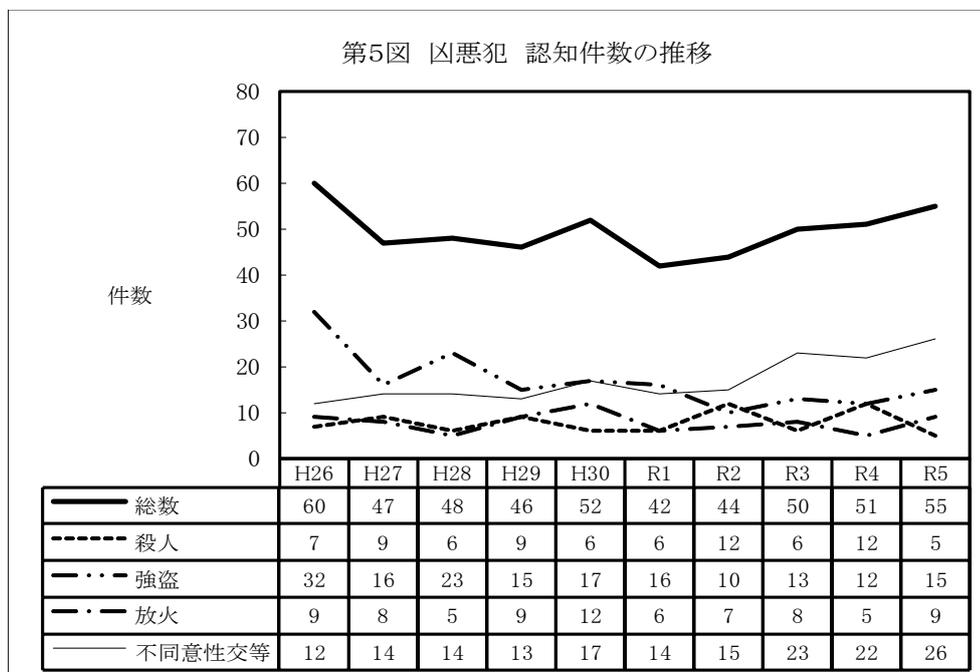
(ウ) 凶悪犯

令和5年中の凶悪犯認知件数は、第4表のとおり55件で、前年に比べ、4件(7.8%)増加した。

第4表 凶悪犯認知件数増減比較

罪 種	令和5年		令和4年		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総 数	55	100.0	51	100.0	4	7.8
殺 人	5	9.1	12	23.5	-7	-58.3
強 盗	15	27.3	12	23.5	3	25.0
放 火	9	16.4	5	9.8	4	80.0
不同意性交等	26	47.3	22	43.1	4	18.2

過去10年間の認知件数の推移をみると第5図のとおりである。令和元年は過去10年で最少の件数となったが、令和2年以降は増加している。



(エ) 粗暴犯

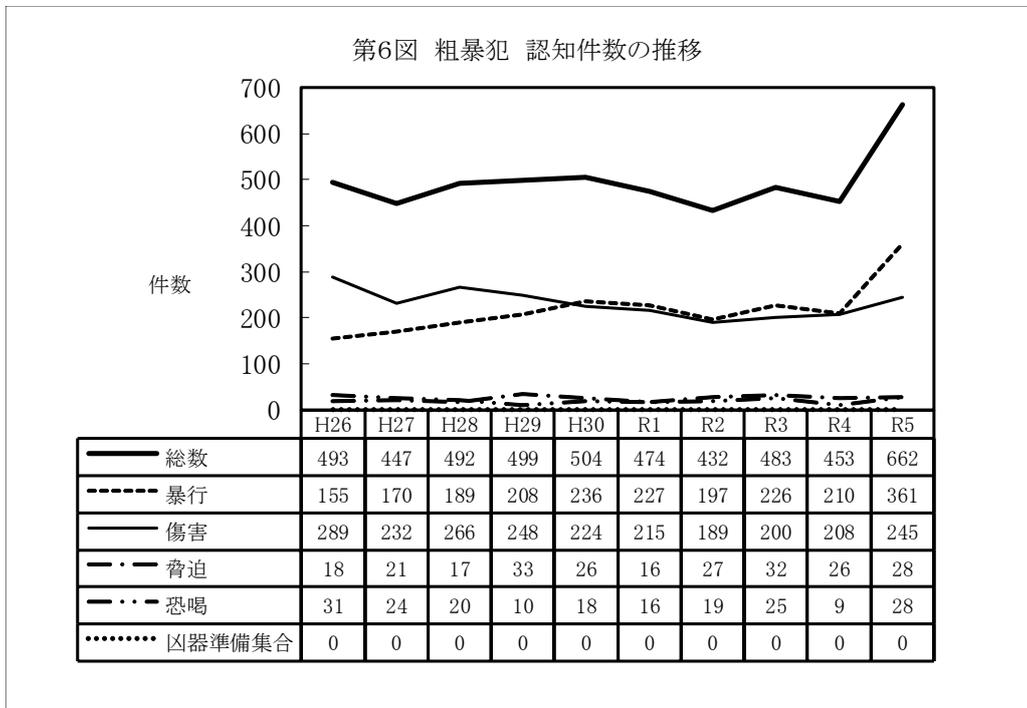
令和5年中の粗暴犯認知件数は、第5表のとおり662件で、前年に比べ209件(46.1%)増加した。

罪種別にみると、暴行、傷害、脅迫、恐喝が増加した。

第5表 粗暴犯認知件数増減比較

罪 種	令和5年		令和4年		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総 数	662	100.0	453	100.0	209	46.1
凶器準備集合	—	—	—	—	—	—
暴 行	361	54.5	210	46.4	151	71.9
傷 害	245	37.0	208	45.9	37	17.8
脅 迫	28	4.2	26	5.7	2	7.7
恐 喝	28	4.2	9	2.0	19	211.1

過去10年間の認知件数の推移をみると第6図のとおりで、平成26年以降、増加と減少を繰り返している。



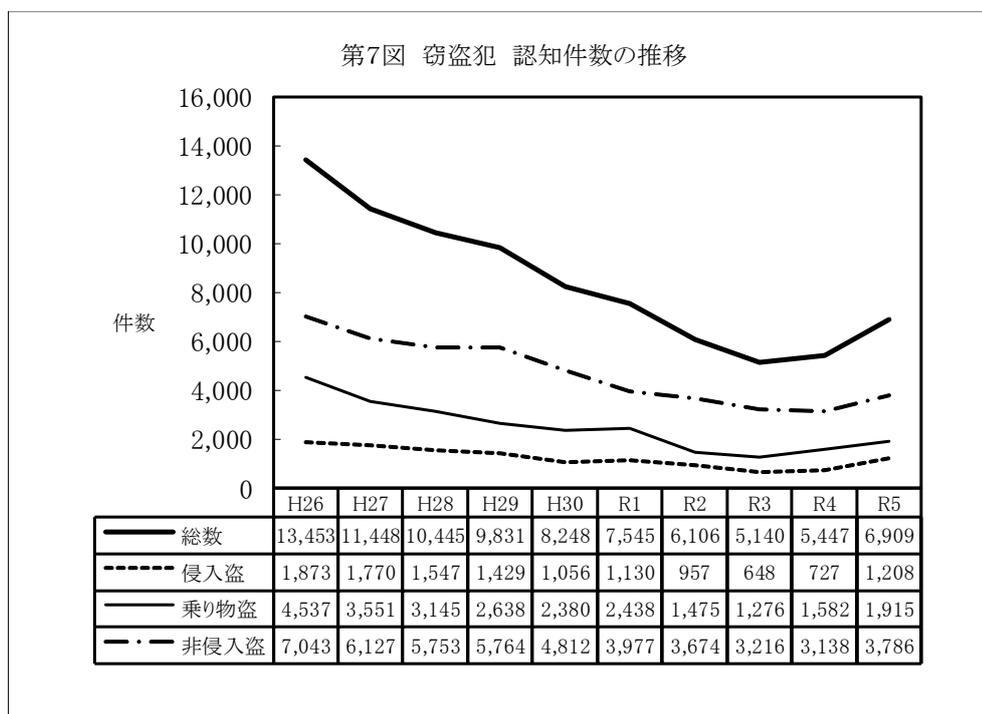
(オ) 窃盗犯

令和5年中の窃盗犯認知件数は、第6表のとおり6,909件で、前年に比べ1,462件(26.8%)増加した。

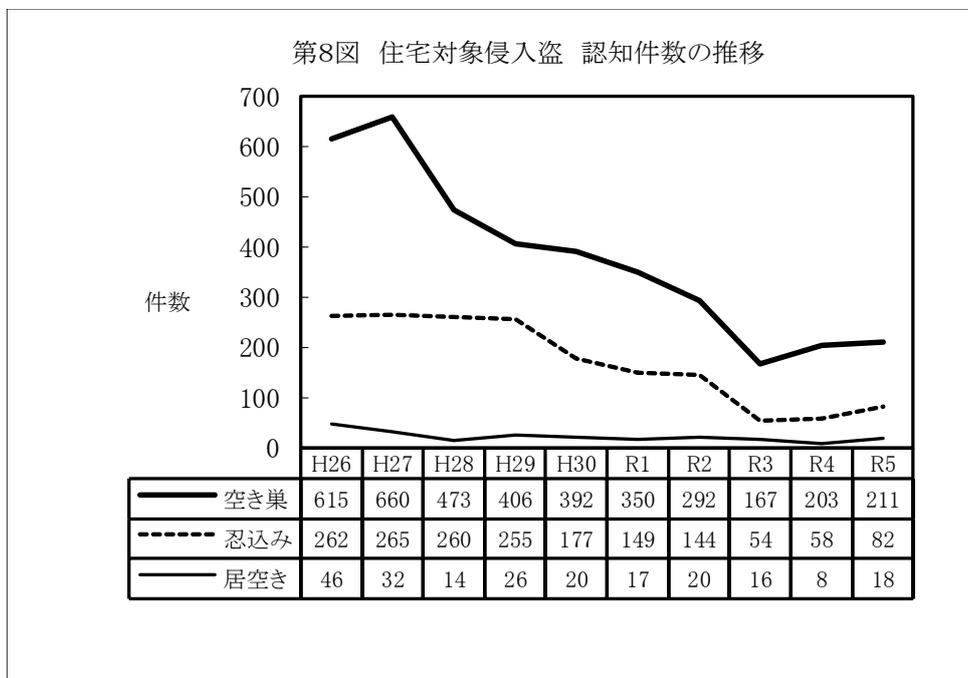
第6表 窃盗犯認知件数増減比較

手 口	令和5年		令和4年		増 減	
	数	構成比	数	構成比	件数	率
総 数	6,909	100.0	5,447	100.0	1,462	26.8
侵 入 盗	1,208	17.5	727	13.3	481	66.2
乗 り 物 盗	1,915	27.7	1,582	29.0	333	21.0
非 侵 入 盗	3,786	54.8	3,138	57.6	648	20.7

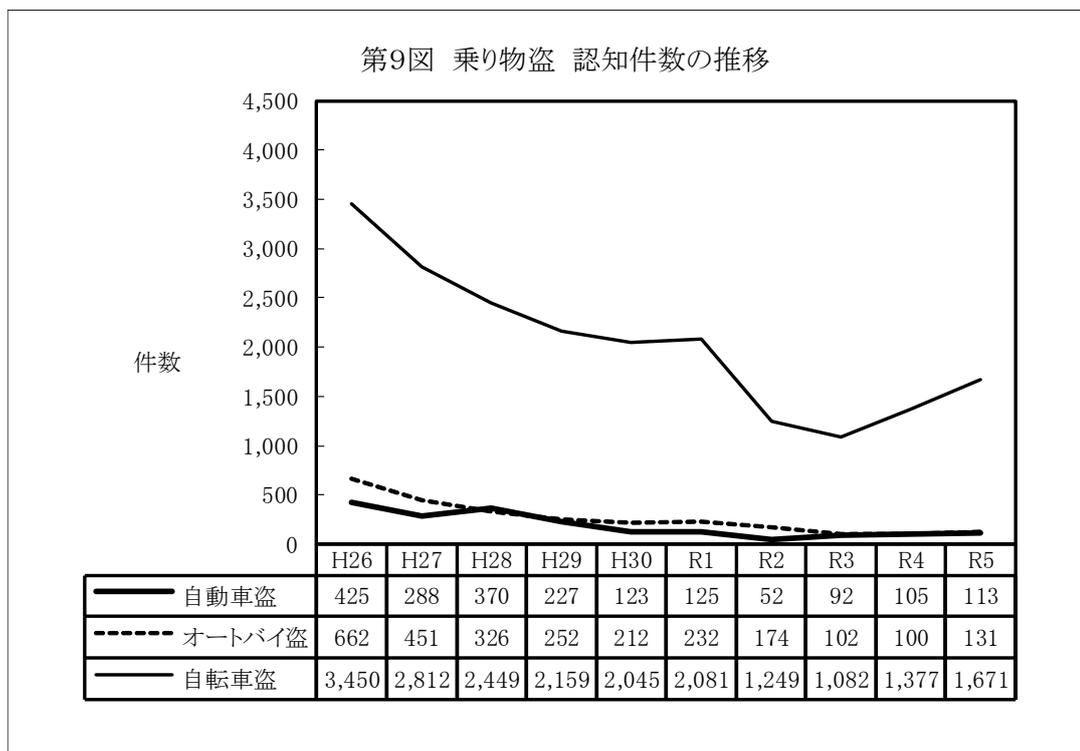
過去10年間の認知件数の推移をみると、第7図のとおりである。令和3年は、総数が過去10年で最少の件数となったが、令和4年以降は増加している。



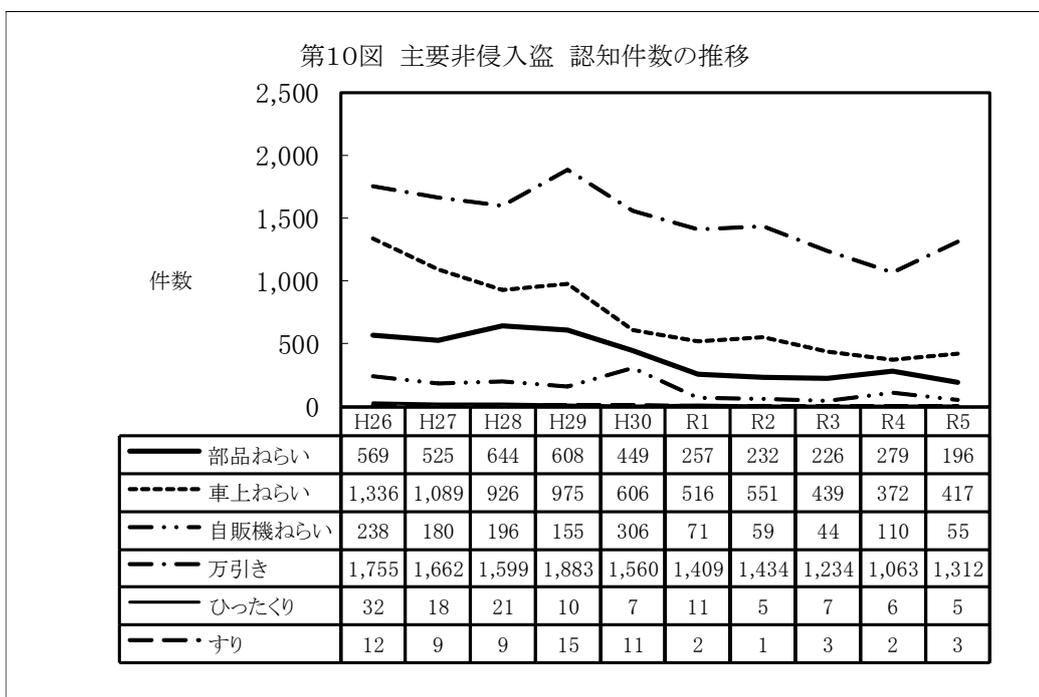
侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると第8図のとおりである。令和5年はすべての手口が増加した。



乗り物盗について過去10年間の認知件数の推移をみると第9図のとおりである。令和5年はすべての手口が増加した。



非侵入盗の主な手口について過去10年間の認知件数の推移をみると、第10図のとおりである。令和5年は部品ねらいが過去10年で最少の件数となった。



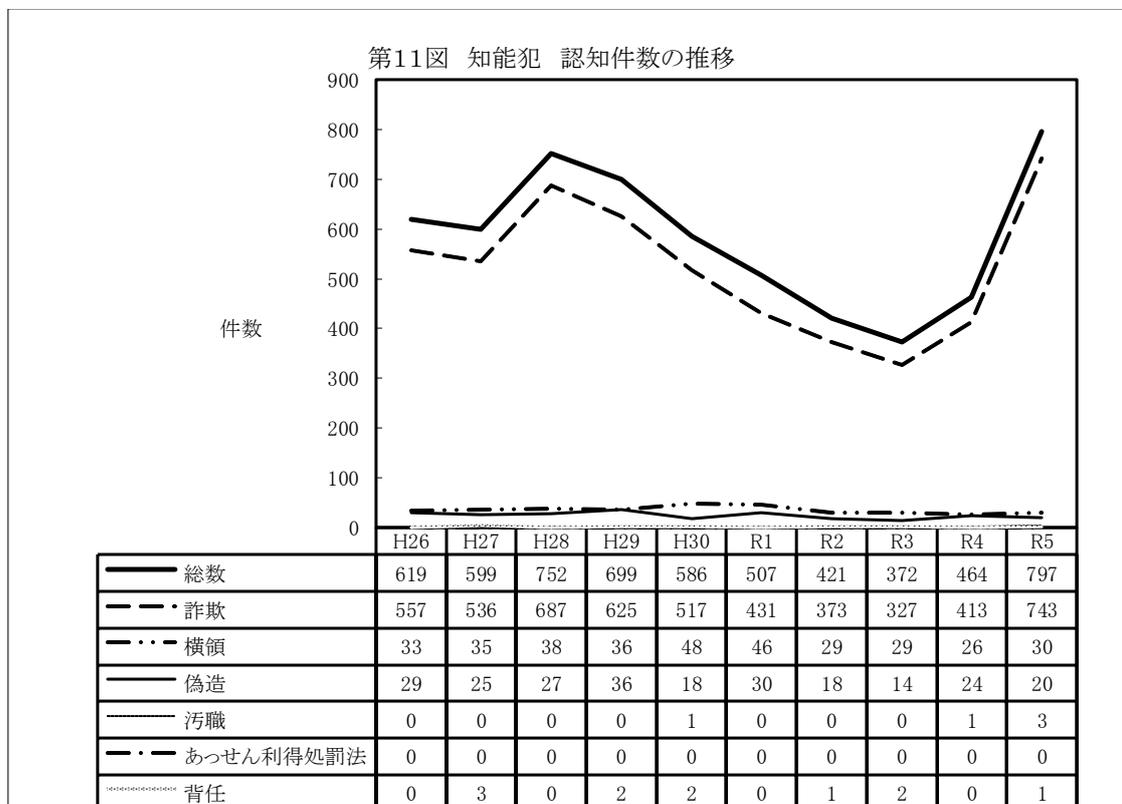
(カ) 知能犯

令和5年中の知能犯認知件数は、第7表のとおり797件で、前年に比べ333件(71.8%)増加した。

第7表 知能犯認知件数増減比較

罪 種	令和5年		令和4年		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総 数	797	100.0	464	100.0	333	71.8
詐 欺	743	93.2	413	89.0	330	79.9
横 領	30	3.8	26	5.6	4	15.4
偽 造	20	2.5	24	5.2	-4	-16.7
汚 職	3	0.4	1	0.2	2	200.0
あっせん利得処罰法	-	-	-	-	-	-
背 任	1	0.1	-	-	1	-

過去10年間の認知件数の推移をみると第11図のとおりで、平成29年以降、詐欺の認知件数は減少傾向を示していたが、令和4年以降は増加しており、令和5年は過去10年で最大の件数となった。



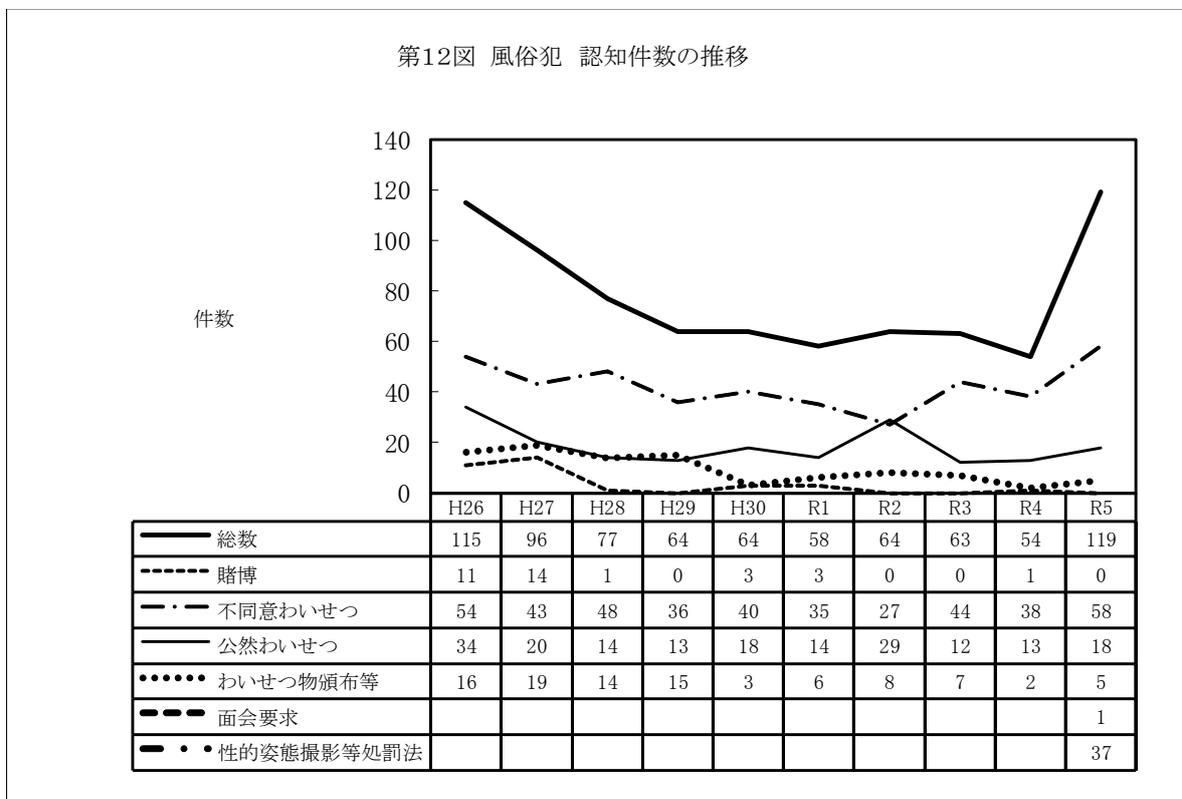
(キ) 風俗犯

令和5年中の風俗犯認知件数は、第8表のとおり119件で、前年に比べ65件(120.4%)増加した。

第8表 風俗犯認知件数増減比較

罪 種	令和5年		令和4年		増 減	
	件 数	構 成 比	件 数	構 成 比	件 数	率
総 数	119	100.0	54	100.0	65	120.4
賭 博	—	—	1	1.9	-1	-100.0
不同意わいせつ	58	48.7	38	70.4	20	52.6
公然わいせつ	18	15.1	13	24.1	5	38.5
わいせつ物頒布等	5	4.2	2	3.7	3	150.0
面 会 要 求	1	0.8	—	—	1	—
性的姿態撮影等処罰法	37	31.1	—	—	37	—

過去10年間の認知件数の推移をみると第12図のとおりである。風俗犯は平成27年以降は減少傾向を示し、令和4年は総数が最少の件数となったが、令和5年は法改正により新たな罪種が追加された影響により、過去10年で最大の件数となった。



(ク) その他の刑法犯

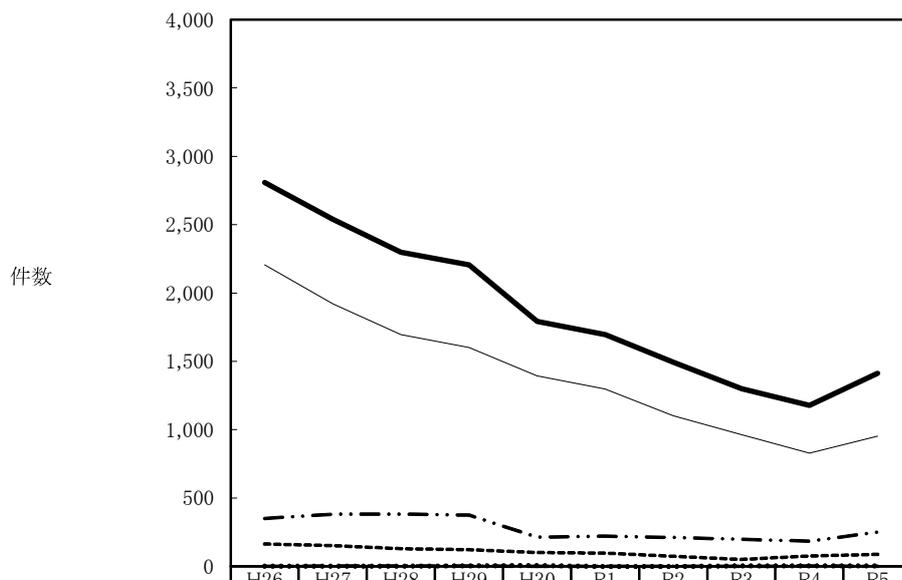
令和5年中のその他の刑法犯は、第9表のとおり1,413件で、前年に比べ235件(19.9%)増加した。占有離脱物横領、住居侵入、器物損壊等が増加し、略取誘拐・人身売買、逮捕監禁が減少している。

第9表 その他の刑法犯認知件数増減比較

罪 種	令和5年		令和4年		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	率
総 数	1,413	100.0	1,178	100.0	235	19.9
うち) 略取誘拐・人身売買	3	0.2	4	0.3	-1	-25.0
うち) 占有離脱物横領	88	6.2	77	6.5	11	14.3
うち) 住 居 侵 入	252	17.8	185	15.7	67	36.2
うち) 逮 捕 監 禁	1	0.1	3	0.3	-2	-66.7
うち) 器 物 損 壊 等	952	67.4	829	70.4	123	14.8

過去10年間の認知件数の推移をみると第13図のとおりである。令和4年は総数、住居侵入、器物損壊等が過去10年で最少の件数となったが、令和5年は増加に転じた。

第13図 その他の主要刑法犯 認知件数の推移



	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
— 総数	2,810	2,541	2,298	2,207	1,793	1,696	1,493	1,302	1,178	1,413
----- 占有離脱物横領	163	152	128	122	101	98	75	51	77	88
- · - · - 住居侵入	349	382	382	374	214	222	213	198	185	252
- · - · - 逮捕監禁	1	2	3	2	1	1	1	0	3	1
— 器物損壊等	2,207	1,921	1,695	1,602	1,394	1,297	1,103	963	829	952
..... 略取誘拐・人身売買	1	1	2	3	6	0	0	3	4	3

ウ 警察署別にみた刑法犯発生(認知)状況

令和5年中の刑法犯認知件数を警察署別にみると、第10表のとおりで、前年と比べ全ての警察署で増加した。

第10表 警察署別刑法犯認知件数

署 別	令和5年	令和4年	増減数	増減率
桑 名	792	635	157	24.7
い な べ	307	221	86	38.9
四 日 市 北	741	655	86	13.1
四 日 市 南	1,266	1,184	82	6.9
四 日 市 西	252	231	21	9.1
亀 山	290	178	112	62.9
鈴 鹿	1,438	1,005	433	43.1
津	1,462	836	626	74.9
津 南	530	371	159	42.9
松 阪	967	739	228	30.9
大 台	38	35	3	8.6
伊 勢	772	594	178	30.0
鳥 羽	259	253	6	2.4
尾 鷲	91	87	4	4.6
熊 野	42	34	8	23.5
紀 宝	59	43	16	37.2
伊 賀	346	301	45	15.0
名 張	303	245	58	23.7
総 数	9,955	7,647	2,308	30.2

(2) 犯罪の被害状況

ア 生命・身体の被害

令和5年中に刑法犯により生命・身体に被害を受けた者の総数は第11表のとおり、282人で、前年に比べ32人増加した。

第11表 死傷被害者数

罪 種	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	死者	傷者								
総 数	2	253	10	225	8	233	9	241	10	272
殺 人	1	5	6	5	1	5	7	5	3	2
強盗・不同意性交等	—	12	—	9	—	4	—	10	1	6
傷 害・同 致 死	1	223	1	205	2	212	—	215	2	251
過 失 致 死 傷	—	5	1	2	—	2	—	4	—	7
業 過 (交 を 除 く)	—	4	2	3	3	9	2	—	4	3
放 火・失 火	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—
不 同 意 わ い せ つ	—	3	—	1	—	1	—	4	—	3
遺 棄	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—
逮 捕 監 禁	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
恐 喝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建 造 物 損 壊	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
決闘罪ニ関スル件	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

イ 財産の被害

令和5年中に認知した財産犯(強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領及び占有離脱物横領をいう。以下同じ。)の被害総額は約34億円で、このうち現金被害額は約20億円である。

これを罪種別にみると、第12表、第14図のとおりで、詐欺、窃盗、横領、恐喝、占有離脱物横領、強盗の順に被害額が多くなっている。

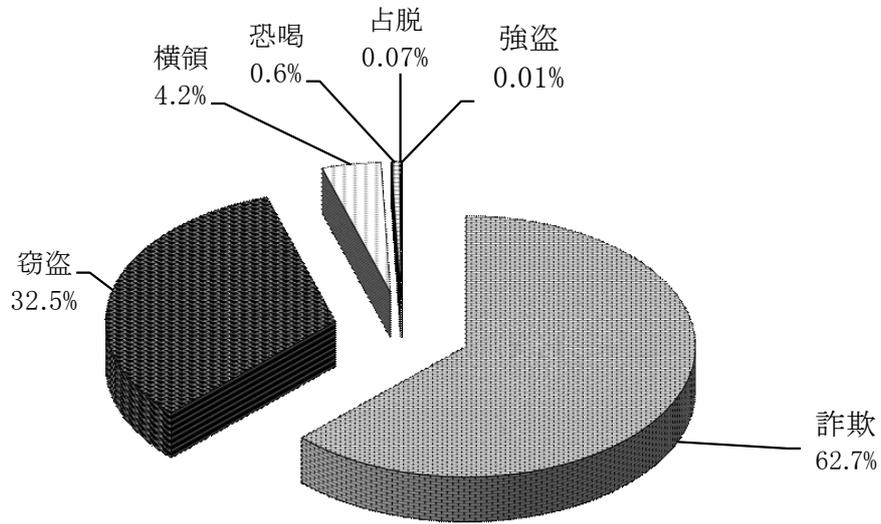
第12表 財産犯の被害額

[単位:千円]

罪 種	令和元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年	
	総 額	うち	総 額	うち						
		現 金		現 金		現 金		現 金		現 金
総 数	1,197,053	639,166	1,291,092	612,817	1,414,555	695,233	5,555,414	4,734,197	3,418,777	2,072,172
強 盗	517	302	3,427	914	875	869	7,793	7,680	321	234
恐 喝	25,648	25,598	2,443	2,441	24,895	24,895	30,768	25,416	19,685	17,289
窃 盗	708,191	186,880	597,764	178,015	875,525	206,429	899,513	165,634	1,111,583	216,878
詐 欺	349,399	322,406	598,790	348,023	296,245	264,024	4,419,154	4,347,500	2,142,419	1,723,582
横 領	112,122	103,423	86,980	82,489	215,878	198,401	197,083	187,509	142,296	113,116
占 脱	1,176	557	1,688	935	1,137	615	1,103	458	2,473	1,073

注:「占脱」とは占有離脱物横領をいい、その被害額は「横領」に含まない。

第14図 財産犯 被害額の罪種別構成比



(3) 検挙状況

ア 概況

令和5年中の刑法犯検挙状況は第13表のとおり、検挙件数は、3,810件、検挙人員は2,116人で、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに増加した。

包括罪種別に前年と比較すると、粗暴犯、窃盗犯、風俗犯、その他の刑法犯の検挙件数、検挙人員が増加した。

第13表 刑法犯検挙件数・検挙人員

包括罪種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	3,810	2,953	857	29.0	2,116	1,796	320	17.8
凶 悪 犯	43	49	-6	-12.2	44	46	-2	-4.3
粗 暴 犯	543	390	153	39.2	547	382	165	43.2
窃 盗 犯	2,476	1,858	618	33.3	1,085	950	135	14.2
知 能 犯	302	320	-18	-5.6	174	203	-29	-14.3
風 俗 犯	77	55	22	40.0	53	44	9	20.5
そ の 他	369	281	88	31.3	213	171	42	24.6

刑法犯検挙件数、検挙人員の過去10年間の推移は、第14表のとおりである。検挙件数は減少傾向を示しており、令和4年は過去10年で最少の検挙件数となったが、令和5年は増加に転じた。また、検挙人員にあっても減少傾向を示しており、令和4年は20歳以上、少年ともに過去10年で最少の検挙人員となったが、令和5年は増加に転じた。

第14表 刑法犯検挙状況

年 別	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	
検 挙 件 数	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	2,953	3,810	
検 挙 人 員	総 数	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116
	20歳以上	1,877	1,890	1,865	1,945	1,970	1,723	1,688	1,674	1,648	1,906
	少 年	570	388	294	248	240	215	175	172	148	210
構 成 比	23.3	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2	9.9	

注:検挙人員は検挙時年齢による。

刑法犯検挙人員2,116人を犯行時の年齢別にみると第15表のとおりで、20歳代の人員が過去10年間で最大の人員となった。

第15表 刑法犯 犯行時の年齢別検挙人員の推移

年別 年齢別	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和	令和
	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
総 数	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116
14～19歳	577	397	296	259	245	219	180	178	152	218
20～29歳	335	291	319	327	289	290	324	301	337	345
30～39歳	324	322	316	318	314	262	267	265	242	281
40～49歳	334	350	380	339	352	326	302	291	288	341
50歳以上	877	918	848	950	1,010	841	790	811	777	931

イ 罪種別にみた検挙状況

(ア) 重要犯罪

令和5年中の重要犯罪の検挙は第16表のとおり、検挙件数は90件、検挙人員は82人、検挙率は77.6%であった。

第16表 重要犯罪検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	令和 5年	令和 4年
			数	率				
総 数	90	92	-2	-2.2	82	78	77.6	98.9
殺 人	5	12	-7	-58.3	5	12	100.0	100.0
強 盗	16	11	5	45.5	21	12	106.7	91.7
放 火	7	5	2	40.0	6	5	77.8	100.0
不同意性交等	15	21	-6	-28.6	12	17	57.7	95.5
略取誘拐・人身売買	2	3	-1	-33.3	2	5	66.7	75.0
不同意わいせつ	45	40	5	12.5	36	27	77.6	105.3

(イ) 重要窃盗犯

令和5年中の重要窃盗犯の検挙は第17表のとおり、検挙件数は763件、検挙人員は89人、検挙率は57.4%で、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。検挙率は前年より18.8ポイント上昇した。

第17表 重要窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員		検 挙 率	
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	令和 5年	令和 4年
			数	率				
総 数	763	324	439	135.5	89	87	57.4	38.6
侵 入 盗	635	269	366	136.1	74	70	52.6	37.0
	住宅対象	106	99	7	7.1	29	21	34.1
その他	529	170	359	211.2	45	49	59.0	37.1
自 動 車 盗	119	48	71	147.9	10	11	105.3	45.7
ひ っ た く り	7	5	2	40.0	4	4	140.0	83.3
す り	2	2	±0	±0.0	1	2	66.7	100.0

(ウ) 凶悪犯

令和5年中の凶悪犯の検挙は、第18表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第18表 凶悪犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	43	49	-6	-12.2	44	46	-2	-4.3
殺 人	5	12	-7	-58.3	5	12	-7	-58.3
強 盗	16	11	5	45.5	21	12	9	75.0
放 火	7	5	2	40.0	6	5	1	20.0
不同意性交等	15	21	-6	-28.6	12	17	-5	-29.4

(エ) 粗暴犯

令和5年中の粗暴犯の検挙は、第19表のとおり、前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第19表 粗暴犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	543	390	153	39.2	547	382	165	43.2
凶器準備集合	-	-	-	-	-	-	-	-
暴 行	316	185	131	70.8	333	183	150	82.0
傷 害	185	173	12	6.9	179	170	9	5.3
脅 迫	24	22	2	9.1	19	22	-3	-13.6
恐 喝	18	10	8	80.0	16	7	9	128.6

(オ) 窃盗犯

令和5年中の窃盗犯の検挙は第20表のとおりである。前年に比べ、検挙件数、検挙人員ともに増加した。検挙件数を手口別にみると、その他の侵入盗と自動車盗の増加が目立ち、車上ねらい、自動販売機ねらいが大きく減少した。

第20表 窃盗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	2,476	1,858	618	33.3	1,085	950	135	14.2
侵 入 盗	635	269	366	136.1	74	70	4	5.7
空 き 巢	91	65	26	40.0	25	14	11	78.6
忍 込 み	11	29	-18	-62.1	2	4	-2	-50.0
居 空 き	4	5	-1	-20.0	2	3	-1	-33.3
金 庫 破 り	2	4	-2	-50.0	-	4	-4	-100.0
学 校 荒 し	13	1	12	1,200.0	4	-	4	-
事 務 所 荒 し	14	16	-2	-12.5	5	3	2	66.7
出 店 荒 し	38	15	23	153.3	3	7	-4	-57.1
そ の 他	462	134	328	244.8	33	35	-2	-5.7
乗 り 物 盗	242	131	111	84.7	95	60	35	58.3
自 動 車 盗	119	48	71	147.9	10	11	-1	-9.1
オ ー ト バ イ 盗	25	21	4	19.0	26	13	13	100.0
自 転 車 盗	98	62	36	58.1	59	36	23	63.9
非 侵 入 盗	1,599	1,458	141	9.7	916	820	96	11.7
部 品 ね ら い	36	19	17	89.5	3	4	-1	-25.0
車 上 ね ら い	56	103	-47	-45.6	11	13	-2	-15.4
ひ っ た く り	7	5	2	40.0	4	4	±0	±0.0
す り	2	2	±0	±0.0	1	2	-1	-50.0
自 動 販 売 機 ね ら い	23	45	-22	-48.9	1	3	-2	-66.7
万 引 き	806	765	41	5.4	637	567	70	12.3
置 引 き	79	80	-1	-1.3	65	69	-4	-5.8
そ の 他	590	439	151	34.4	194	158	36	22.8

(カ) 知能犯

令和5年中の知能犯の検挙は、第21表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに減少した。

第21表 知能犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	302	320	-18	-5.6	174	203	-29	-14.3
詐 欺	259	274	-15	-5.5	139	168	-29	-17.3
横 領	22	22	±0	±0.0	19	22	-3	-13.6
偽 造	17	23	-6	-26.1	8	11	-3	-27.3
汚 職	3	1	2	200.0	6	2	4	200.0
あっせん利得処罰法	-	-	±0	±0.0	-	-	±0	±0.0
背 任	1	-	1	-	2	-	2	-

(キ) 風俗犯

令和5年中の風俗犯の検挙は、第22表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第22表 風俗犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	77	55	22	40.0	53	44	9	20.5
賭 博	-	1	-1	-100.0	-	6	-6	-100.0
不同意わいせつ	45	40	5	12.5	36	27	9	33.3
公然わいせつ	18	12	6	50.0	10	9	1	11.1
わいせつ物頒布等	4	2	2	100.0	1	2	-1	-50.0
面 会 要 求	-	-	-	-	-	-	-	-
性的姿態撮影等処罰法	10	-	10	-	6	-	6	-

(ク) その他の刑法犯

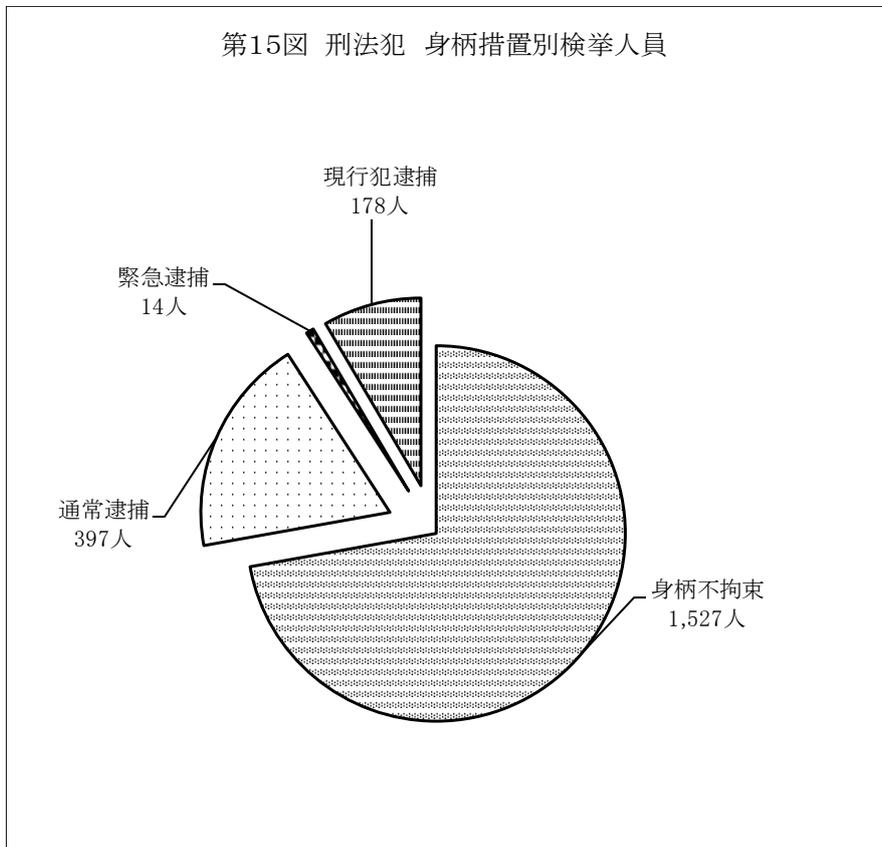
令和5年中のその他の刑法犯の検挙は、第23表のとおり、前年に比べ検挙件数、検挙人員ともに増加した。

第23表 その他の刑法犯検挙状況

区 分	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	増 減	
			数	率			数	率
総 数	369	281	88	31.3	213	171	42	24.6
うち) 略取誘拐・人身売買	2	3	-1	-33.3	2	5	-3	-60.0
うち) 占有離脱物横領	68	64	4	6.3	58	60	-2	-3.3
うち) 住 居 侵 入	94	69	25	36.2	34	24	10	41.7
うち) 逮 捕 監 禁	2	2	±0	±0.0	4	2	2	100.0
うち) 器 物 損 壊 等	136	83	53	63.9	58	33	25	75.8

ウ 身柄措置別検挙状況

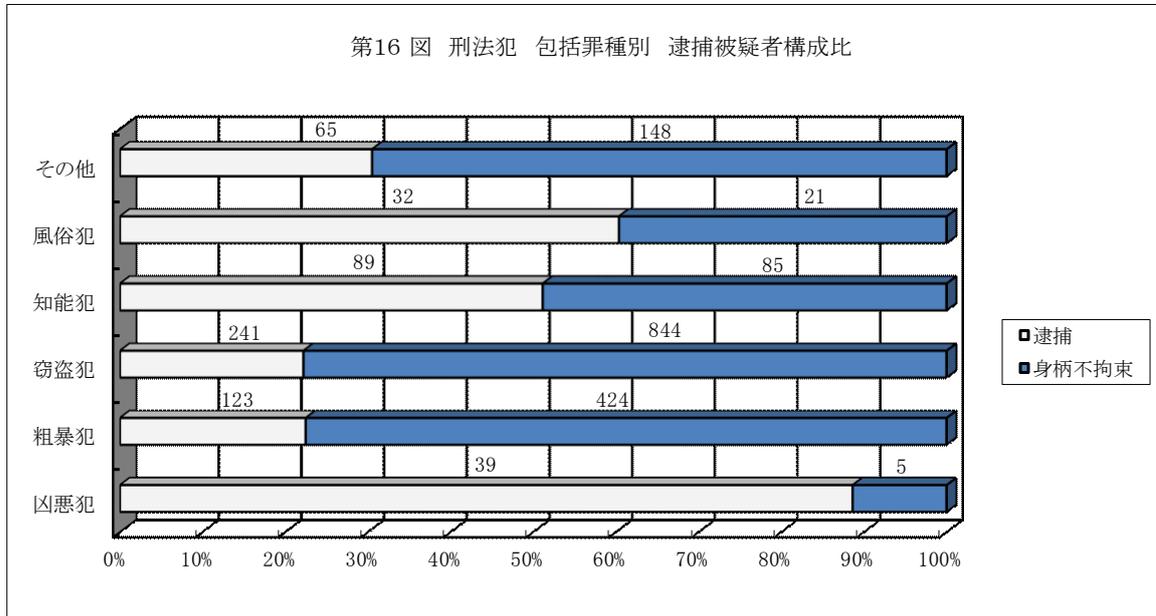
令和5年中の刑法犯検挙人員2,116人を身柄措置別にみると、第15図、第24表のとおりで、身柄不拘束者は1,527人、逮捕人員は589人であった。



第24表 刑法犯包括罪種別身柄措置別検挙人員

身柄措置別 包括罪種別		総 数	身柄不拘束	逮 捕 計	逮 捕 計		
					現行犯逮捕	緊急逮捕	通常逮捕
総 数	令和5年	2,116	1,527	589	178	14	397
	令和4年	1,796	1,246	550	172	7	371
	増減数	+320	+281	+39	+6	+7	+26
凶 悪 犯	令和5年	44	5	39	3	2	34
	令和4年	46	7	39	5	-	34
	増減数	-2	-2	±0	-2	+2	±0
粗 暴 犯	令和5年	547	424	123	45	1	77
	令和4年	382	281	101	43	2	56
	増減数	+165	+143	+22	+2	-1	+21
窃 盗 犯	令和5年	1,085	844	241	85	9	147
	令和4年	950	711	239	83	4	152
	増減数	+135	+133	+2	+2	+5	-5
うち) 侵入盗	令和5年	74	11	63	7	4	52
	令和4年	70	19	51	9	1	41
	増減数	+4	-8	+12	-2	+3	+11
知 能 犯	令和5年	174	85	89	9	-	80
	令和4年	203	112	91	11	1	79
	増減数	-29	-27	-2	-2	-1	+1
風 俗 犯	令和5年	53	21	32	7	1	24
	令和4年	44	20	24	4	-	20
	増減数	+9	+1	+8	+3	+1	+4
そ の 他	令和5年	213	148	65	29	1	35
	令和4年	171	115	56	26	-	30
	増減数	+42	+33	+9	+3	+1	+5

また、包括罪種別に逮捕被疑者の構成比をみると第16図のとおりで、逮捕被疑者の占める率が最も高いのは凶悪犯で、最も低いのは窃盗犯である。



エ 女性に係る犯罪

令和5年中における女性被害に係る刑法犯認知件数は第25表のとおり、2,446件で、前年に比べ703件増加した。包括罪種別にみると、風俗犯では被害の95.2%、凶悪犯では被害の76.0%が女性である。

第25表 女性被害に係る刑法犯認知件数前年対比

区分	令和5年			令和4年			増減		
	人の被害 の計	うち)女	構成比	人の被害 の計	うち)女	構成比	人の被害 の計	うち)女	ポイント
総数	7,001	2,446	34.9	5,177	1,743	33.7	1,824	703	1.2
凶悪犯	50	38	76.0	50	35	70.0	±0	3	6.0
粗暴犯	662	307	46.4	451	206	45.7	211	101	0.7
窃盗犯	4,558	1,343	29.5	3,503	1,011	28.9	1,055	332	0.6
侵入盗	917	303	33.0	483	121	25.1	434	182	7.9
乗り物盗	1,879	499	26.6	1,536	417	27.1	343	82	-0.5
非侵入盗	1,762	541	30.7	1,484	473	31.9	278	68	-1.2
知能犯	618	310	50.2	268	142	53.0	350	168	-2.8
風俗犯	105	100	95.2	47	42	89.4	58	58	5.8
その他	1,008	348	34.5	858	307	35.8	150	41	-1.3

女性被害に係る刑法犯認知件数の過去10年間の推移をみると、第26表のとおりで、平成26年以降、減少傾向を示していたが、令和4年以降は増加している。

第26表 女性被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
総 数	4,142	3,387	3,089	3,035	2,587	2,466	2,028	1,652	1,743	2,446
構成比	23.6	22.3	21.9	22.7	23.0	23.9	23.7	22.3	22.8	24.6
凶 悪 犯	25	27	24	27	21	19	26	25	35	38
構成比	41.7	57.4	50.0	58.7	40.4	45.2	59.1	50.0	68.6	69.1
粗 暴 犯	160	166	198	226	225	204	205	219	206	307
構成比	32.5	37.1	40.2	45.3	44.6	43.0	47.5	45.3	45.5	46.4
窃 盗 犯	3,040	2,371	2,070	1,971	1,668	1,644	1,225	920	1,011	1,343
構成比	22.6	20.7	19.8	20.0	20.2	21.8	20.1	17.9	18.6	19.4
知 能 犯	158	168	146	190	121	115	122	99	142	310
構成比	25.5	28.0	19.4	27.2	20.6	22.7	29.0	26.6	30.6	38.9
風 俗 犯	61	48	51	41	49	38	38	50	42	100
構成比	53.0	50.0	66.2	64.1	76.6	65.5	59.4	79.4	77.8	84.0
そ の 他	698	607	600	580	503	446	412	339	307	348
構成比	24.8	23.9	26.1	26.3	28.1	26.3	27.6	26.0	26.1	24.6

* 構成比は刑法犯認知件数に占める女性被害の件数の割合をいう。

令和5年中における刑法犯検挙人員のうち、女性の検挙人員は第27表のとおり、460人で、前年に比べ、76人増加した。刑法犯検挙人員に占める女性の割合は21.7%で、前年に比べ0.3ポイント上昇した。

第27表 女性の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
総 数	517	508	462	487	488	458	429	401	384	460
構成比	21.1	22.3	21.4	22.2	22.1	23.6	23.0	21.7	21.4	21.7
凶 悪 犯	4	3	6	6	3	3	4	4	-	5
構成比	7.4	7.3	16.2	16.2	8.6	6.7	7.8	10.0	-	11.4
粗 暴 犯	16	20	28	24	28	39	39	35	50	84
構成比	4.7	5.9	7.8	6.6	7.1	10.1	10.9	8.6	13.1	15.4
窃 盗 犯	436	425	376	406	375	368	326	306	279	315
構成比	28.9	29.6	28.2	29.8	30.5	33.0	30.8	30.3	29.4	29.0
知 能 犯	35	25	28	32	46	33	33	39	38	30
構成比	17.7	17.0	17.8	18.2	21.7	20.1	23.4	21.3	18.7	17.2
風 俗 犯	4	4	4	1	14	-	-	-	2	-
構成比	5.3	7.4	7.1	3.0	9.4	-	-	-	4.5	-
そ の 他	22	31	20	18	22	15	27	17	15	26
構成比	8.1	11.8	9.3	8.3	11.4	8.7	12.7	10.1	8.8	12.2

* 構成比は刑法犯検挙人員に占める女性被疑者の割合をいう。

オ 高齢者に係る犯罪

令和5年中における高齢者被害に係る刑法犯認知件数は第28表のとおり、1,388件で、前年に比べ483件の増加となった。

刑法犯全体に占める高齢者被害の割合は13.9%で、前年に比べ、2.1ポイント上昇した。

高齢者被害に係る刑法犯認知件数の10年間の推移をみると、令和5年は刑法犯総数における高齢者の割合が過去10年間で最高の構成比となった。

第28表 高齢者被害に係る刑法犯認知件数の推移

区 分	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
総 数	2,016	1,696	1,621	1,523	1,194	1,243	1,061	849	905	1,388
構成比	11.5	11.2	11.5	11.4	10.6	12.0	12.4	11.5	11.8	13.9
凶 悪 犯	10	7	2	8	8	6	6	1	7	5
構成比	16.7	14.9	4.2	17.4	15.4	14.3	13.6	2.0	13.7	9.1
粗 暴 犯	37	26	35	35	40	45	46	50	35	75
構成比	7.5	5.8	7.1	7.0	7.9	9.5	10.6	10.4	7.7	11.3
窃 盗 犯	1,510	1,263	1,140	1,096	831	857	715	517	597	874
構成比	11.2	11.0	10.9	11.1	10.1	11.4	11.7	10.1	11.0	12.7
知 能 犯	109	124	139	105	83	79	82	91	124	231
構成比	17.6	20.7	18.5	15.0	14.2	15.6	19.5	24.5	26.7	29.0
風 俗 犯	-	-	-	-	2	-	-	-	2	4
構成比	-	-	-	-	3.1	-	-	-	3.7	3.4
そ の 他	350	276	305	279	230	256	212	190	140	199
構成比	12.5	10.9	13.3	12.6	12.8	15.1	14.2	14.6	11.9	14.1

* 構成比は刑法犯認知件数に占める高齢者被害の件数の割合をいう。

令和5年中における刑法犯検挙人員のうち、高齢者の検挙人員は第29表のとおり、503人で、全体に占める割合は23.8%である。

第29表 高齢者の刑法犯検挙人員の推移

区 分	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
総 数	470	495	486	510	558	457	425	417	410	503
構成比	19.2	21.7	22.5	23.3	25.2	23.6	22.8	22.6	22.8	23.8
凶 悪 犯	3	3	2	5	4	4	4	3	4	3
構成比	5.6	7.3	5.4	13.5	11.4	8.9	7.8	7.5	8.7	6.8
粗 暴 犯	32	43	34	44	59	55	43	51	56	84
構成比	9.4	12.7	9.4	12.0	15.0	14.2	12.0	12.6	14.7	15.4
窃 盗 犯	388	391	400	415	405	340	332	318	292	355
構成比	25.7	27.3	30.0	30.4	33.0	30.5	31.4	31.5	30.7	32.7
知 能 犯	19	13	11	17	26	16	13	14	20	14
構成比	9.6	8.8	7.0	9.7	12.3	9.8	9.2	7.7	9.9	8.0
風 俗 犯	3	4	8	3	31	5	3	6	8	10
構成比	3.9	7.4	14.3	9.1	20.8	9.4	7.0	15.4	18.2	18.9
そ の 他	25	41	31	26	33	37	30	25	30	37
構成比	9.3	15.6	14.5	12.0	17.1	21.4	14.2	14.9	17.5	17.4

* 構成比は刑法犯検挙人員に占める高齢被疑者の割合をいう。

2 特別法犯検挙状況

令和5年中における特別法犯の検挙状況をみると、検挙件数は565件、検挙人員は438人で、前年に比べ、検挙件数は6件減少し、検挙人員は40人増加した。

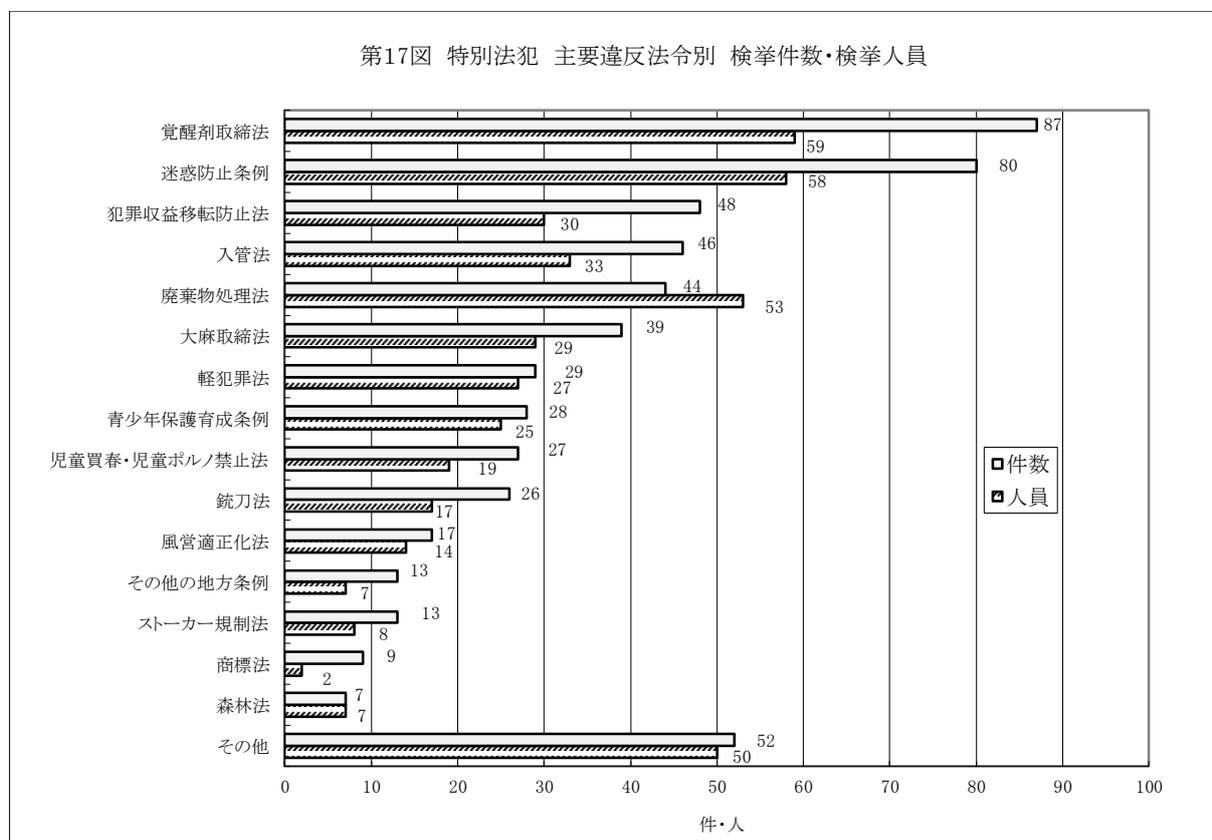
違反法令別に前年と比較すると、検挙件数は第30表のとおり、犯罪収益移転防止法、風営適正化法等が増加し、麻薬等取締法、不正アクセス禁止法等が減少した。

第30表 特別法犯検挙状況

違反法令別	検挙件数			検挙人員		
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数
入管法	46	36	10	33	25	8
軽犯罪法	29	18	11	27	17	10
迷惑防止条例	80	86	-6	58	67	-9
動物愛護管理法	4	2	2	5	2	3
ストーカー規制法	13	4	9	8	4	4
特殊開錠用具所持禁止法	1	-	1	1	-	1
暴力団排除条例	1	-	1	2	-	2
風営適正化法	17	4	13	14	6	8
二十歳未満ノ者ノ飲酒ノ禁止ニ関スル法律	1	-	1	1	-	1
二十歳未満ノ者ノ喫煙ノ禁止ニ関スル法律	2	1	1	2	1	1
青少年保護育成条例	28	23	5	25	13	12
児童買春・児童ポルノ禁止法	27	32	-5	19	26	-7
犯罪収益移転防止法	48	34	14	30	19	11
銃刀法	26	31	-5	17	23	-6
狩猟法	5	2	3	2	3	-1
火薬類取締法	1	-	1	1	-	1
麻薬等取締法	3	14	-11	-	5	-5
大麻取締法	39	48	-9	29	22	7
覚醒剤取締法	87	93	-6	59	45	14
医薬品医療機器等法	1	1	±0	-	-	±0

違 反 法 令 別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数
毒 劇 物 法	1	4	-3	1	2	-1
麻 薬 等 特 例 法	4	3	1	4	2	2
食 品 衛 生 法	-	1	-1	-	-	±0
廃 棄 物 処 理 法	44	44	±0	53	55	-2
狂 犬 病 予 防 法	2	8	-6	2	5	-3
建 設 資 材 再 資 源 化 法	2	-	2	-	-	±0
食 品 表 示 法	1	-	1	2	-	2
職 業 安 定 法	-	1	-1	-	2	-2
不 正 競 争 防 止 法	2	2	±0	3	1	2
金 融 商 品 取 引 法	1	1	±0	1	2	-1
割 賦 販 売 法	1	-	1	-	-	±0
特 定 商 取 引 法	1	2	-1	1	2	-1
森 林 法	7	5	2	7	5	2
漁 業 法	3	10	-7	6	13	-7
鉄 道 営 業 法	1	-	1	3	-	3
航 空 法	1	1	±0	1	1	±0
船 舶 職 員 法	1	-	1	1	-	1
郵 便 法	-	3	-3	-	-	±0
電 波 法	1	4	-3	1	4	-3
不 正 ア ク セ ス 禁 止 法	3	12	-9	2	5	-3
行 政 書 士 法	1	-	1	1	-	1
民 事 執 行 法	6	6	±0	6	6	±0
会 社 法	-	-	±0	-	1	-1
商 標 法	9	16	-7	2	4	-2
著 作 権 法	-	5	-5	-	-	±0
旅 券 法	1	-	1	1	-	1
労 働 施 策 総 合 推 進 法	-	1	-1	-	1	-1
四日市市客引き行為等の防止に関する条例	1	3	-2	1	3	-2
三重県漁業調整規則	3	1	2	3	1	2
三重県動物の愛護及び管理に関する条例	9	9	±0	3	5	-2
総 数	565	571	-6	438	398	40

違反法令別にみると、第17図のとおりで、検挙件数は覚醒剤取締法、迷惑防止条例、犯罪収益移転防止法が上位を占めている。



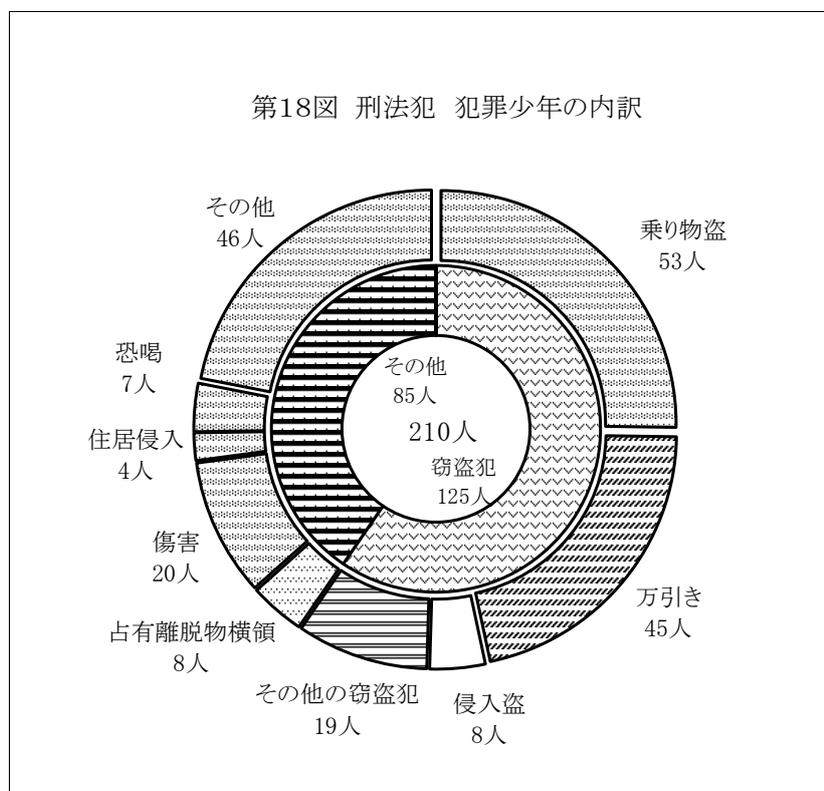
3 少年犯罪の状況

- (1) 令和5年中に検挙された刑法犯の犯罪少年は、第31表のとおり210人で前年に比べ62人(41.9%)増加した。罪種別にみると、粗暴犯、窃盗犯、風俗犯、その他の刑法犯が増加した。

第31表 刑法犯犯罪少年検挙人員増減比較

包括罪種	令和5年		令和4年		増減	
	件数	構成比	件数	構成比	人員	率
総数	210	100.0	148	100.0	62	41.9
凶悪犯	5	2.4	5	3.4	±0	±0.0
粗暴犯	35	16.7	28	18.9	7	25.0
窃盗犯	125	59.5	82	55.4	43	52.4
知能犯	3	1.4	6	4.1	-3	-50.0
風俗犯	6	2.9	2	1.4	4	200.0
その他	36	17.1	25	16.9	11	44.0

また、第18図のとおり、窃盗犯の少年が犯罪少年全体の約6割を占めている。特に乗り物盗、万引きの占める率が高い。



(2) 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比の10年間の推移をみると、第32表のとおりで、平成26年以降、減少傾向であったが、令和5年は増加に転じた。

第32表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比

区 分	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
総 数	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116
うち)少年	570	388	294	248	240	215	175	172	148	210
構成比	23.3	17.0	13.6	11.3	10.9	11.1	9.4	9.3	8.2	9.9

(3) 令和5年中の刑法犯検挙人員に占める少年の構成比を警察署別にみると、第33表のとおりで、犯罪少年の構成比が最も高かったのは、四日市西警察署の28.3%で、大台及び熊野警察署は少年の検挙がなかった。

第33表 刑法犯検挙人員に占める少年の構成比(警察署別)

区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	区 分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年		
総数	総数	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116	松	総数	211	218	188	191	173
	うち)少年	215	175	172	148	210		うち)少年	19	20	5	10	14
	構成比	11.1	9.4	9.3	8.2	9.9		構成比	9.0	9.2	2.7	5.2	8.1
桑名	総数	139	116	153	157	132	大	総数	13	16	2	15	11
	うち)少年	15	9	11	21	11		うち)少年	-	5	-	1	-
	構成比	10.8	7.8	7.2	13.4	8.3		構成比	-	31.3	-	6.7	-
いなべ	総数	65	60	68	58	64	伊勢	総数	160	159	209	180	174
	うち)少年	3	5	11	2	4		うち)少年	20	9	12	10	16
	構成比	4.6	8.3	16.2	3.4	6.3		構成比	12.5	5.7	5.7	5.6	9.2
四北	総数	134	177	137	118	156	鳥羽	総数	66	57	49	83	87
	うち)少年	18	9	10	8	10		うち)少年	7	3	2	9	17
	構成比	13.4	5.1	7.3	6.8	6.4		構成比	10.6	5.3	4.1	10.8	19.5
四南	総数	200	197	175	175	285	尾鷲	総数	46	33	26	37	35
	うち)少年	16	21	18	19	39		うち)少年	2	1	-	1	3
	構成比	8.0	10.7	10.3	10.9	13.7		構成比	4.3	3.0	-	2.7	8.6
四西	総数	66	44	55	44	46	熊野	総数	16	15	24	16	20
	うち)少年	5	7	8	7	13		うち)少年	2	1	-	1	-
	構成比	7.6	15.9	14.5	15.9	28.3		構成比	12.5	6.7	-	6.3	-
山亀	総数	66	67	64	47	47	紀宝	総数	3	9	19	14	17
	うち)少年	16	7	4	3	2		うち)少年	-	-	-	-	1
	構成比	24.2	10.4	6.3	6.4	4.3		構成比	-	-	-	-	5.9
山鈴	総数	286	266	273	211	299	伊賀	総数	79	61	58	55	66
	うち)少年	47	29	55	14	39		うち)少年	7	7	10	4	1
	構成比	16.4	10.9	20.1	6.6	13.0		構成比	8.9	11.5	17.2	7.3	1.5
津鹿	総数	188	164	179	160	286	名張	総数	80	99	64	86	94
	うち)少年	18	15	6	18	23		うち)少年	11	14	7	7	5
	構成比	9.6	9.1	3.4	11.3	8.0		構成比	13.8	14.1	10.9	8.1	5.3
津南	総数	120	105	103	149	124	本	総数	-	-	-	-	-
	うち)少年	9	13	13	13	12		うち)少年	-	-	-	-	-
	構成比	7.5	12.4	12.6	8.7	9.7		構成比	-	-	-	-	-

(4) 触法少年を除く少年犯罪の過去10年間の推移を犯行時年齢別にみると、第34表のとおりで、平成26年は14歳から16歳までの低年齢層が約7割を占めていたが、年々減少し、令和5年は約5割となっている。

第34表 刑法犯の犯行時年齢別検挙人員の推移(14~19歳)

区 分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
総数	577	397	296	259	245	219	180	178	152	218
14歳	87	59	45	36	33	43	19	21	19	18
15歳	171	84	63	32	52	30	27	25	22	33
16歳	126	106	60	53	59	43	47	40	25	53
17歳	93	68	58	54	34	41	33	46	36	48
18歳	63	51	36	47	38	41	36	21	25	31
19歳	37	29	34	37	29	21	18	25	25	35

注: 本表の検挙人員については、犯行時が少年で処理時が20歳以上の場合を含む。

4 暴力団犯罪の状況

(1) 令和5年中の暴力団の検挙状況は、第35表のとおり、検挙件数は162件、検挙人員は85人で、前年に比べ、検挙件数は13件減少し、検挙人員は6人減少した。

第35表 暴力団犯罪検挙状況

区 分		平成 30年	令和 元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
総 数	件数	256	314	280	226	175	162
	人員	188	136	119	113	91	85
刑 法 犯	件数	190	253	233	175	117	113
	人員	149	99	93	75	67	48
特 別 法 犯	件数	66	61	47	51	58	49
	人員	39	37	26	38	24	37

(2) 暴力団犯罪のうち、刑法犯の検挙状況を前年と比較すると、第36表のとおりで、検挙件数は4件減少し、検挙人員は19人減少した。

第36表 暴力団犯罪(刑法犯)罪種別検挙件数・検挙人員

罪 種	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数
総 数	113	117	-4	48	67	-19
殺 人	-	1	-1	-	1	-1
強 盗	1	-	1	3	-	3
放 火	-	-	±0	-	-	±0
不 同 意 性 交 等	1	-	1	-	-	±0
凶 器 準 備 集 合	-	-	±0	-	-	±0
暴 行	2	6	-4	2	6	-4
傷 害	10	9	1	10	9	1
脅 迫	-	3	-3	-	4	-4
恐 喝	2	1	1	3	1	2
窃 盗	74	70	4	12	23	-11
詐 欺	10	13	-3	10	14	-4
横 領	-	1	-1	-	1	-1
文 書 偽 造	-	1	-1	-	1	-1
賭 博	-	-	±0	-	-	±0
わいせつ物頒布等	-	-	±0	-	-	±0
公務執行妨害	4	3	1	2	1	1
犯人蔵匿	-	-	±0	-	-	±0
証人威迫	-	-	±0	-	-	±0
逮捕監禁	1	-	1	2	-	2
信用毀損・ 威力業務妨害	-	-	±0	-	-	±0
器物損壊等	2	2	±0	1	1	±0
暴力行為等処罰 ニ関スル法律	-	-	±0	-	-	±0
そ の 他	6	7	-1	3	5	-2

(3) 暴力団犯罪のうち、特別法犯の検挙状況を前年と比較すると、第37表のとおりで、検挙件数は9件減少し、検挙人員は13件増加した。

第37表 暴力団犯罪(特別法犯)違反法令別検挙件数・検挙人員

違反法令別	検 挙 件 数			検 挙 人 員		
	令和5年	令和4年	増減数	令和5年	令和4年	増減数
総 数	49	58	-9	37	24	13
暴力団排除条例	1	-	1	2	-	2
風営適正化法	3	-	3	3	-	3
青少年保護育成条例	1	-	1	1	-	1
犯罪収益移転防止法	-	2	-2	-	2	-2
銃 刀 法	-	3	-3	-	1	-1
麻 薬 等 取 締 法	-	1	-1	-	-	±0
大 麻 取 締 法	5	6	-1	3	2	1
覚 醒 剤 取 締 法	34	43	-9	23	17	6
麻 薬 等 特 例 法	4	1	3	4	1	3
廃 棄 物 処 理 法	1	-	1	1	-	1
郵 便 法	-	1	-1	-	-	±0
民 事 執 行 法	-	1	-1	-	1	-1

5 来日外国人犯罪の状況

(1) 令和5年中における来日外国人による犯罪の検挙状況は第38表のとおりである。刑法犯、特別法
 犯をあわせた総検挙件数は472件、総検挙人員は147人で、前年と比較すると、検挙件数は345件
 (271.7%)増加し、検挙人員は48人(48.5%)増加した。

第38表 刑法犯包括罪種別・違反法令別来日外国人検挙状況

区 分	検挙件数				検挙人員				
	令和 5年	令和 4年	増 減		令和 5年	令和 4年	増 減		
			数	率			数	率	
総 数	472	127	345	271.7	147	99	48	48.5	
刑 法 犯	小 計	407	73	334	457.5	105	59	46	78.0
	凶 悪 犯	2	1	1	100.0	3	1	2	200.0
	粗 暴 犯	29	15	14	93.3	28	15	13	86.7
	窃 盗 犯	340	41	299	729.3	53	32	21	65.6
	知 能 犯	8	3	5	166.7	5	4	1	25.0
	風 俗 犯	4	1	3	300.0	3	1	2	200.0
	そ の 他	24	12	12	100.0	13	6	7	116.7
特 別 法 犯	小 計	65	54	11	20.4	42	40	2	5.0
	入 管 法	37	34	3	8.8	24	23	1	4.3
	軽 犯 罪 法	1	-	1	-	1	-	1	-
	迷惑防止条例	2	-	2	-	2	-	2	-
	ストーカー規制法	1	-	1	-	1	-	1	-
	風営適正化法	2	-	2	-	1	-	1	-
	青少年保護育成条例	-	2	-2	-100.0	-	2	-2	-100.0
	犯罪収益移転防止法	1	2	-1	-50.0	-	1	-1	-100.0
	麻薬等取締法	1	4	-3	-75.0	-	3	-3	-100.0
	大麻取締法	4	7	-3	-42.9	2	5	-3	-60.0
	覚醒剤取締法	6	3	3	100.0	5	1	4	400.0
	廃棄物処理法	-	2	-2	-100.0	-	5	-5	-100.0
	森 林 法	2	-	2	-	2	-	2	-
	商 標 法	5	-	5	-	1	-	1	-
	三重県漁業調整規則	3	-	3	-	3	-	3	-
そ の 他	-	-	±0	-	-	-	±0	-	

(2) 過去10年間ににおける来日外国人による刑法犯の検挙状況は、第39表、第40表のとおりで、令和5
 年の検挙件数は過去10年で最大の件数となった。検挙人員については平成28年に過去10年で最
 少の人員となり、その後は増加と減少を繰り返し、令和5年は過去10年で最大の人員となった。

また、令和5年中の刑法犯の総数に対し、来日外国人の占める割合は、検挙件数では10.7%、
 検挙人員では5.0%となっている。

第39表 刑法犯来日外国人の検挙件数の推移

区 分	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和	令和
	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
総 数	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	3,829	3,591	3,421	2,953	3,810
来日外国人	253	314	114	150	92	146	160	124	73	407
構 成 比	4.7	6.5	2.5	2.6	1.9	3.8	4.5	3.6	2.5	10.7
凶 悪 犯	52	45	46	49	50	40	47	49	49	43
来日外国人	1	-	3	3	2	3	5	3	1	2
構 成 比	1.9	-	6.5	6.1	4.0	7.5	10.6	6.1	2.0	4.7
粗 暴 犯	333	347	360	371	396	393	360	404	390	543
来日外国人	11	11	6	11	16	18	15	14	15	29
構 成 比	3.3	3.2	1.7	3.0	4.0	4.6	4.2	3.5	3.8	5.3
窃 盗 犯	3,837	3,526	3,155	4,334	3,623	2,609	2,486	2,259	1,858	2,476
来日外国人	222	285	92	59	61	114	111	72	41	340
構 成 比	5.8	8.1	2.9	1.4	1.7	4.4	4.5	3.2	2.2	13.7
知 能 犯	574	486	551	440	518	432	299	291	320	302
来日外国人	6	8	7	63	1	3	12	11	3	8
構 成 比	1.0	1.6	1.3	14.3	0.2	0.7	4.0	3.8	0.9	2.6
風 俗 犯	99	79	76	54	52	59	55	54	55	77
来日外国人	2	2	1	2	1	2	3	5	1	4
構 成 比	2.0	2.5	1.3	3.7	1.9	3.4	5.5	9.3	1.8	5.2
そ の 他	500	382	369	469	325	296	344	364	281	369
来日外国人	11	8	5	12	11	6	14	19	12	24
構 成 比	2.2	2.1	1.4	2.6	3.4	2.0	4.1	5.2	4.3	6.5

第40表 刑法犯来日外国人の検挙人員の推移

区 分	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和	令和
	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
総 数	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	1,938	1,863	1,846	1,796	2,116
来日外国人	77	73	51	71	67	68	92	85	59	105
構 成 比	3.1	3.2	2.4	3.2	3.0	3.5	4.9	4.6	3.3	5.0
凶 悪 犯	54	41	37	37	35	45	51	40	46	44
来日外国人	1	-	3	3	2	2	10	4	1	3
構 成 比	1.9	-	8.1	8.1	5.7	4.4	19.6	10.0	2.2	6.8
粗 暴 犯	342	339	361	366	393	388	357	406	382	547
来日外国人	9	11	5	12	16	17	16	14	15	28
構 成 比	2.6	3.2	1.4	3.3	4.1	4.4	4.5	3.4	3.9	5.1
窃 盗 犯	1,507	1,434	1,334	1,364	1,228	1,115	1,059	1,010	950	1,085
来日外国人	49	53	36	41	39	43	43	49	32	53
構 成 比	3.3	3.7	2.7	3.0	3.2	3.9	4.1	4.9	3.4	4.9
知 能 犯	198	147	157	176	212	164	141	183	203	174
来日外国人	8	3	3	4	4	1	10	7	4	5
構 成 比	4.0	2.0	1.9	2.3	1.9	0.6	7.1	3.8	2.0	2.9
風 俗 犯	76	54	56	33	149	53	43	39	44	53
来日外国人	2	2	1	2	-	2	2	2	1	3
構 成 比	2.6	3.7	1.8	6.1	-	3.8	4.7	5.1	2.3	5.7
そ の 他	270	263	214	217	193	173	212	168	171	213
来日外国人	8	4	3	9	6	3	11	9	6	13
構 成 比	3.0	1.5	1.4	4.1	3.1	1.7	5.2	5.4	3.5	6.1